2026年3月期 通期決算説明会

2026年5月8日

日本特殊陶業株式会社

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

目次

1. 2026年3月期　通期実績

2. 2027年3月期　通期業績予想

3. 株主還元について

4. 中期経営計画2030の進捗
～企業価値向上に向けた取り組み～

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

決算のポイント

2026年3月期 通期実績

- 売上収益・営業利益ともに通期累計で5期連続で過去最高を更新し、中期経営計画の初年度は順調に進捗
- 売上収益は、ICE搭載車の生産台数が減少するなか、新車組付け用/補修用製品ともに堅調に推移したことで、自動車およびコンポーネント・ソリューション事業ともに、増収
- 営業利益は、原材料価格の高騰影響があったものの、売上増加および価格転嫁の実施により増益
- 年間配当金は、安定配当＋業績連動のハイブリッド型の株主還元方針の下、前年から1株当たり27円増配の205円/株

2027年3月期 通期業績予想

- ドル：150円、ユーロ：180円を前提とし、中期経営計画の達成に向け、6期連続の過去最高の売上収益・営業利益を目指す
- 売上収益は、自動車関連事業の堅調な需要と旺盛な半導体需要を取り込み、増収を見込む
- 営業利益については、原材料価格の高騰に対し、市場動向に応じた適正な価格転嫁を実施し、過去最高を目指す
- 年間配当金予想は、前年から5円増配の210円／株

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

業績概要（IFRS）

Niterra 日本特殊陶業

– 前期比で増収・増益、通期累計で売上収益・営業利益ともに過去最高を更新

（億円）

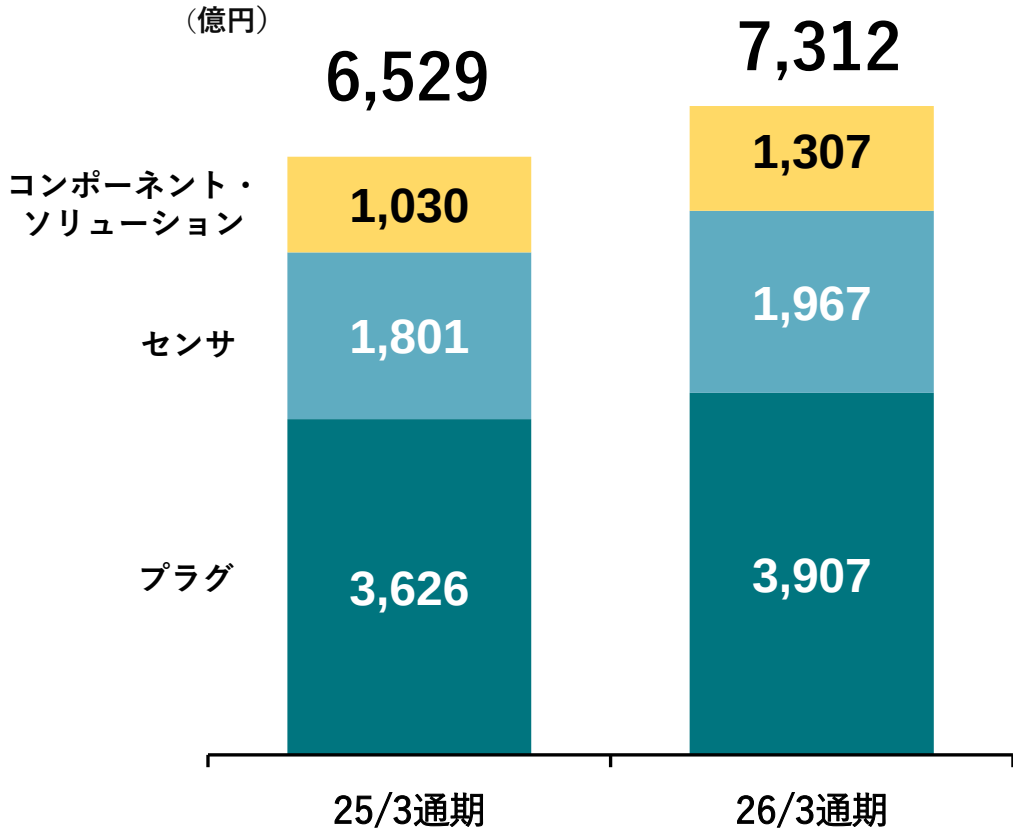
		2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期実績	前期比増減	
				増減額	増減率
売上収益		6,529	**7,312**	+782	+12.0%
営業利益 （利益率）		1,296 (19.9%)	**1,381** (18.9%)	+85	+6.6%
税引前利益 （利益率）		1,333 (20.4%)	**1,654** (22.6%)	+322	+24.1%
親会社の所有者に帰属する当期利益 （利益率）		926 (14.2%)	**1,128** (15.4%)	+203	+21.9%
為替レート	ドル	153円	**151円**	2円	円高
	ユーロ	164円	**175円**	11円	円安

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

売上収益

– 自動車関連事業では、新車組付け用/補修用製品ともに販売数量が増加したことに加え、インフレ・米国関税に対応した価格転嫁の実施により前期比増収

– コンポーネント・ソリューション事業では、生成AI関連用途での販売が堅調に推移したことに加え、26年6月に連結子会社としたNiterra Materialsの寄与もあり、前期比増収



プラグ

3,626億円 ➡3,907億円

- 前期比＋ 8%の増収
- 新車組付け用製品の販売は、EV化の停滞に伴うICE搭載車の堅調な需要を背景に、前期比で増加
- 補修用製品は、各地域で堅調な需要が継続し、前期比増加
- インフレ・米国関税に伴う価格転嫁も増収に寄与。

センサ

1,801億円 ➡1,967億円

- 前期比 ＋9%の増収
- プラグ事業と同様に、ICE搭載車の堅調な需要を背景に販売数量が伸長し、前期比で増収

コンポーネント・ソリューション

1,030億円 ➡1,307億円

- 前期比 ＋27%の増収
- SPE事業では、生成AI関連用途や先端ロジック半導体向けの需要増加を受け、前期比増収
- 窒化ケイ素事業では、当連結会計年度から連結子会社としたNiterra Materials の売上が寄与し、前期比増収

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

自動車関連製品の販売実績

– ICE搭載車の生産台数が前期比で4.5%減少するなか、当社販売数量は新車組付け用/補修用製品ともに堅調で前期比増
– 販売金額においても需要の確実な取り込みに加え、インフレおよび米国関税に対応した価格転嫁により増加

地域別販売金額・数量　(25/3 通期 対 26/3 通期)

地域	ICE搭載車 生産台数 (当社推定)	販売金額 (為替影響額を除く)		販売数量		
		プラグ	センサ	プラグ		排ガス用酸素センサ
				OEM	AM	
北米	△ 9.2 %	+ 12.5 %	+ 4.5 %	+ 2.3 %	+ 2.9 %	+ 2.4 %
欧州	△ 4.9 %	+ 6.2 %	△ 0.5 %	+ 4.2 %	+ 0.2 %	△0.7 %
中国	△ 0.7 % (△6.6%) ※1	+ 3.7 %	△ 7.5 %	+ 1.0 %	△1.8 %	△3.9 %
東南アジア	△ 3.9 %	+2.9%	※2	※3	+ 3.0 %	※2
インド	△ 0.8 %	※3	+ 73.7 %	※3	※3	+ 67.8 %
グローバル	**△ 4.5 %**	**+ 8.0 %**	**+ 8.6 %**	**+ 3.4 %**	**+ 2.2 %**	**+ 0.4 %**

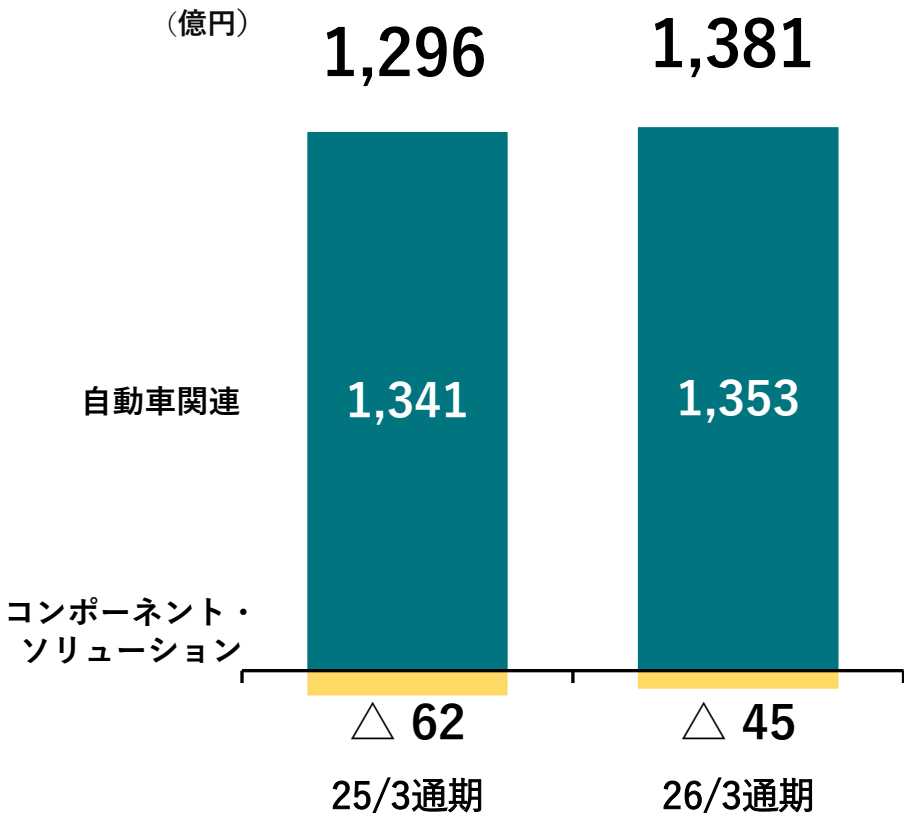
※1 当社主要OEM先の日本・米国・欧州自動車完成車メーカー（弊社客先）のみのICE自動車生産台数予想
※2 センサのグローバル販売全体における東南アジアの売上構成比率は少ない
※3 東南アジアにおける新車組付け用プラグ、インドの売上構成比率は少ない

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

営業利益

– 自動車関連事業では、貴金属価格の高騰影響を受けるも、堅調な販売により増益

– コンポーネント・ソリューション事業では、メディカル事業では減損損失を計上するも、旺盛な半導体需要を追い風にSPE事業は堅調に推移し、損失幅は縮小



自動車関連
1,341億円
➡ **1,353**億円

- 新車組付け用／補修用製品の販売がともに前期比で増加したことに加え、インフレ・米国追加関税分への対応として価格転嫁を実行し、前期比で増益

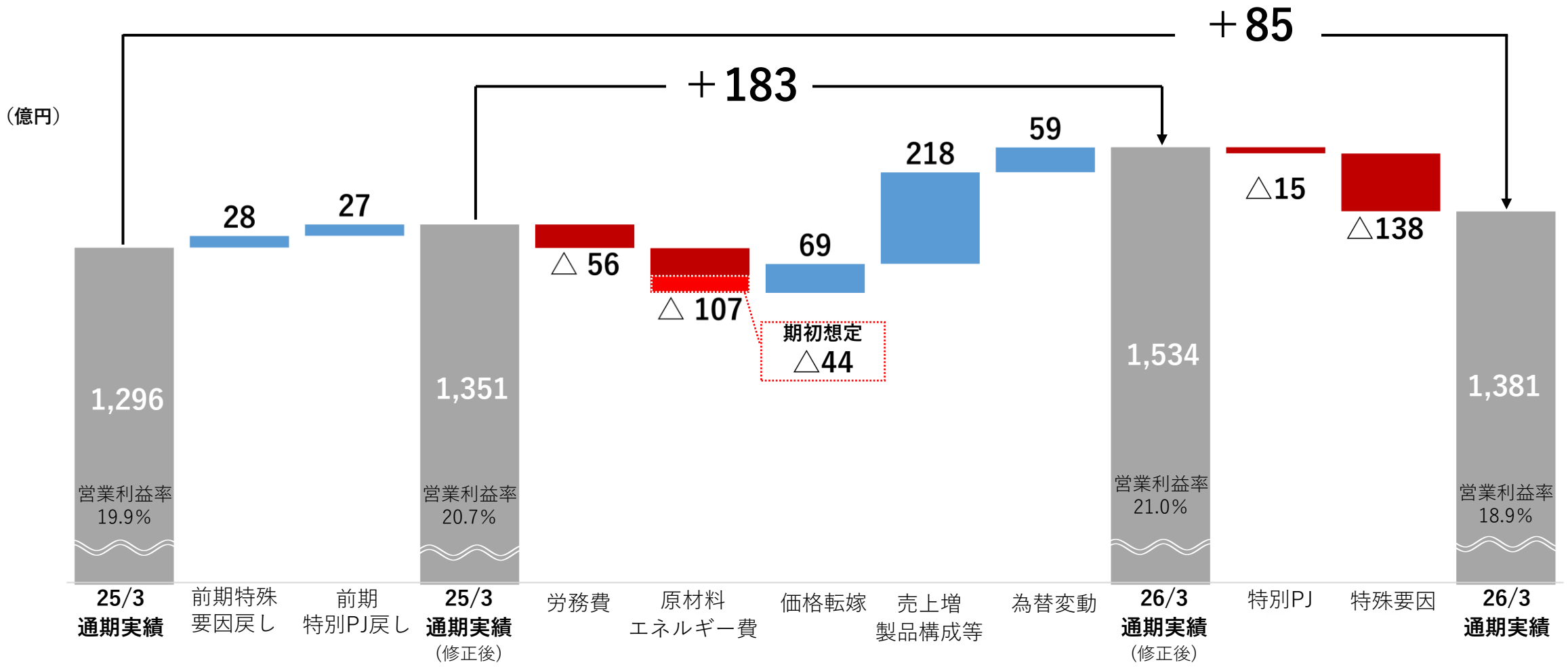
コンポーネント・ソリューション
△62億円
➡ **△45**億円

- SPE事業は、半導体需要増に伴う出荷増により、稼働率が向上し増益
- 窒化ケイ素事業は、Niterra Materialsによる寄与があるものの、26/3期はPPA償却費負担もあり営業損失を計上
- メディカル事業は、北米・欧州における競争激化に伴う販売の伸び悩みに加え、不採算地域からの撤退に伴う一時的なコスト増が発生し、営業損失を計上

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

営業利益増減（前期比）

– 労務費増加や原材料・エネルギー価格の高騰影響を受けるも、売上増・製品構成等で押し上げ、前期比で増益



Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

為替影響（営業利益への影響額）

通貨		為替レート（円）		為替影響額（億円）
		2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期実績	
USD	米国ドル	152.6	150.8	△10 ※
EUR	ユーロ	163.7	174.8	+35
CNY	人民元	21.1	21.2	0
BRL	ブラジルレアル	27.2	27.8	+5
THB	タイバーツ	4.4	4.7	+36
MXN	メキシコペソ	8.0	8.2	+4
その他				△11
合計				**+59**

※為替影響額の中には、ドル建てで購入している原材料のプラス影響４億円が含まれています。

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

目次

1. 2026年3月期　通期実績

2. 2027年3月期　通期業績予想

3. 株主還元について

4. 中期経営計画2030の進捗
～企業価値向上に向けた取り組み～

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

通期業績予想の前提

▌貴金属価格の高騰

・前期に続き、貴金属価格（白金・イリジウム）は今後も高値圏を推移する前提

・白金建値は前年から約30％程度上昇、イリジウム建値は約70％※程度上昇の想定

・市場動向に応じた適正な販売価格の設定で、中期で業績影響を軽減

※2026年3月期では、イリジウムは在庫消化により市場価格高騰の影響は顕在化せず、2027年3月期では市場価格上昇の影響を一時的に受ける見通し

▌米国追加関税による影響

・物流の調整および価格転嫁により、前期に続き業績への影響を限定的な範囲に軽減する方針

▌中東情勢の影響

エネルギー価格：原油価格高騰によるエネルギー価格上昇は見込んでおらず、今後の価格動向を注視する

調達・生産面　：現時点で調達および生産への影響は出ておらず、リスクとなり得る石油関連材料は代替品を検討し、対応していく

物流面　　：影響を最小限に抑えるべく、代替ルートを検討

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

業績概要（IFRS）

– 自動車関連事業における堅調な需要と旺盛な半導体需要の継続を背景に、増収を見込む

– 原材料影響に対する適正な価格転嫁と自動車関連およびコンポーネント・ソリューションの両事業での売上増により、増益を計画

（億円）

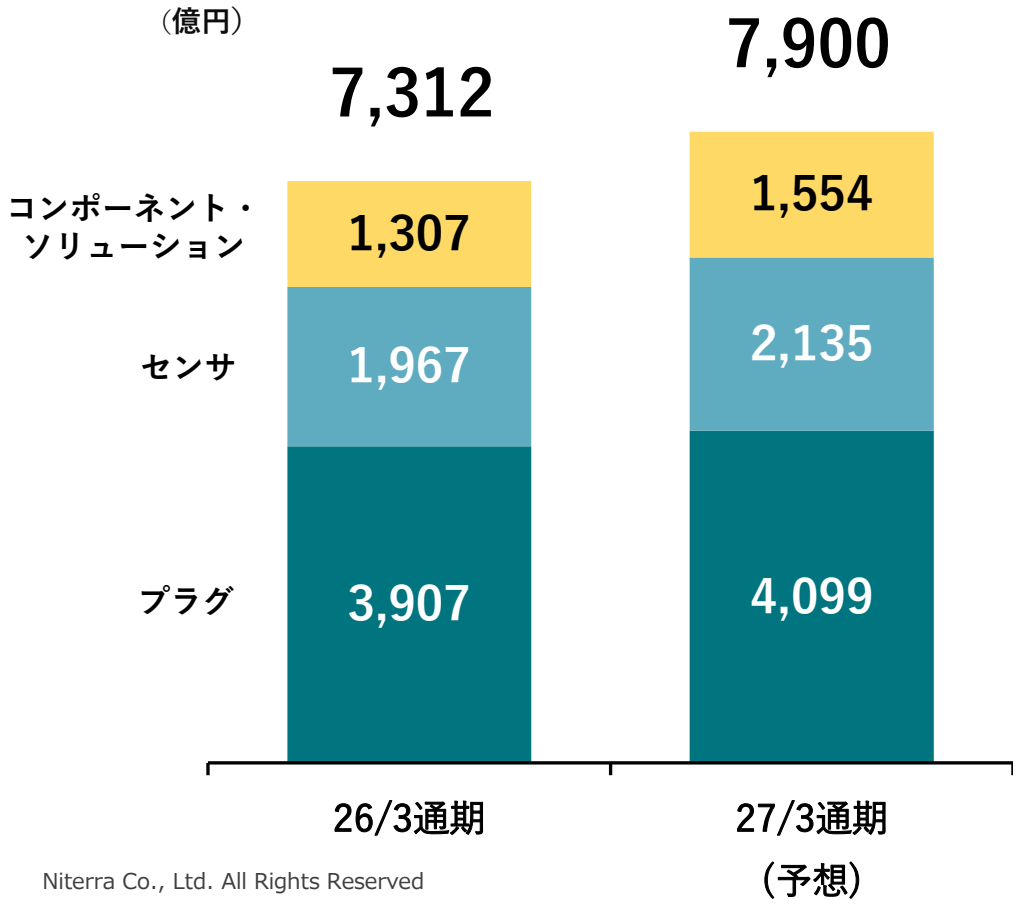
		2026年3月期 通期実績	2027年3月期 通期業績予想	前期比増減 増減額	前期比増減 増減率
売上収益		7,312	**7,900**	+588	+8.0%
営業利益（利益率）		1,381 (18.9%)	**1,500** (19.0%)	+118	+8.6%
税引前利益（利益率）		1,654 (22.6%)	**1,500**※ (19.0%)	△155	△9.4%
親会社の所有者に帰属する当期利益（利益率）		1,128 (15.4%)	**1,050** (13.3%)	△79	△7.0%
為替レート	ドル	151円	**150円**	1円	円高
	ユーロ	175円	**180円**	5円	円安

※ 投資有価証券の評価損益は見込まず（前期は評価益を計上）

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

売上収益

– 自動車用補修用製品での販売数量増加と継続した価格転嫁の推進により増収
– データセンター向け需要の高まりや生成AI向け投資の拡大により、メモリ・ロジック向けともに伸長し、SPE事業での増収を見込む



プラグ
3,907億円 ➡4,099億円
- 新車組付け用製品は各地域でバラつきはあるものの、EV化の停滞によって総じて堅調な需要を見込む
- 補修用製品でも同様に、堅調な需要に加え継続した価格転嫁により、増収

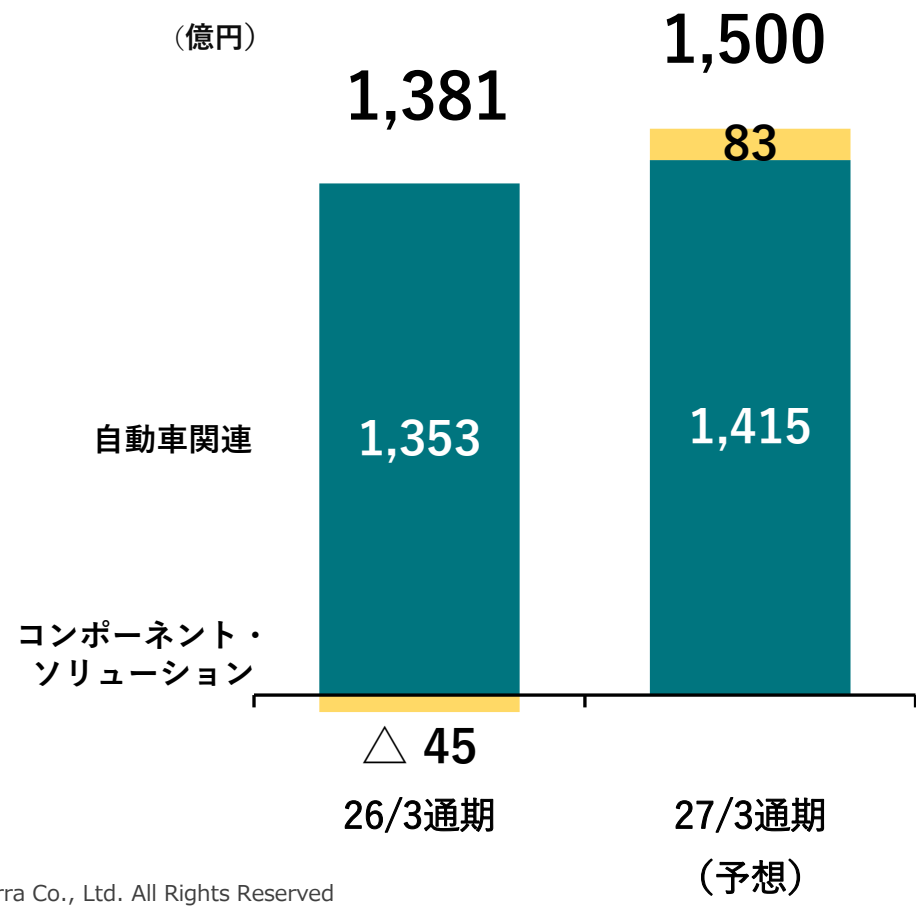
センサ
1,967億円 ➡2,135億円
- 堅調なICE搭載車の需要に加え、高付加価値製品の数量増を見込み、増収

コンポーネント・ソリューション
1,307億円 ➡1,554億円
- SPE事業では、生成AI市場拡大に伴う旺盛な需要を取り込み、25％の増収
- 窒化ケイ素事業では、連結子会社としたNiterra Materialsが年間を通じて、売上貢献

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

営業利益

– 自動車関連事業では、原材料価格高騰の影響が想定されるものの、堅調な販売と価格転嫁による効果で相殺し、増益
– 需要増を背景としたSPE事業での事業規模拡大による利益貢献を見込み、増益



自動車関連
1,353億円
➡ 1,415億円

- 原材料価格の高騰による影響が想定されるなか、利益率の高い補修用製品の販売増加による収益性の向上や適正な価格転嫁により、増益を見込む

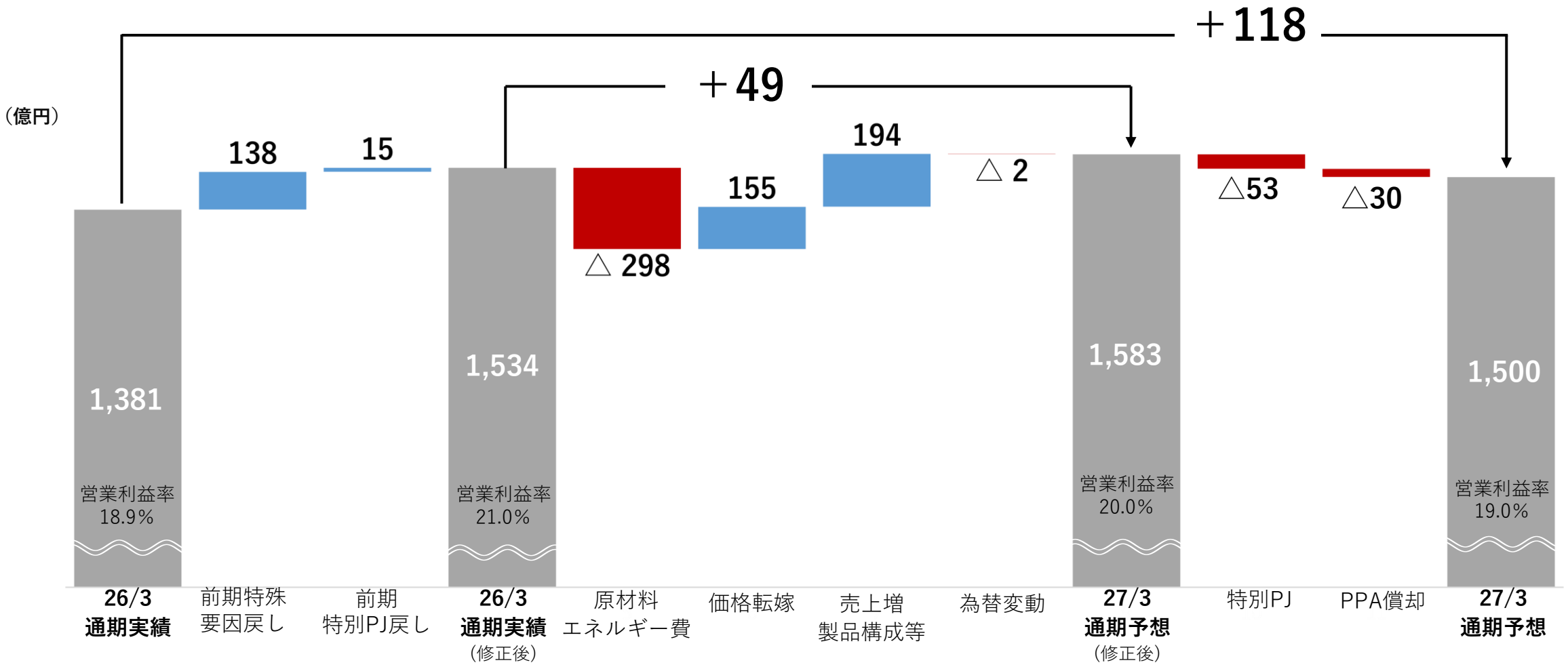
コンポーネント・ソリューション
△45億円
➡83億円

- SPE事業では、旺盛な需要を背景とした増収効果に加え、稼働率上昇に伴う生産効率向上を見込み、増益
- メディカル事業では、固定費削減により、利益改善を見込む

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

営業利益増減（前期比）

– 原材料価格高騰の影響を大きく受ける一方、自動車関連事業での適正な価格転嫁に加え、中期経営計画に沿ったコンポーネント・ソリューション事業の規模拡大が大きく寄与し、前期比増益を計画



Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

為替影響（営業利益への影響額）

通貨		為替レート（円）		為替影響額（億円）
		2026年3月期 通期実績	2027年3月期 通期業績予想	
USD	米国ドル	150.8	150.0	△3※
EUR	ユーロ	174.8	180.0	+16
CNY	人民元	21.2	21.0	△4
BRL	ブラジルレアル	27.8	27.0	△7
THB	タイバーツ	4.7	4.7	+3
MXN	メキシコペソ	8.2	8.3	+3
その他				△11
合計				**△2**

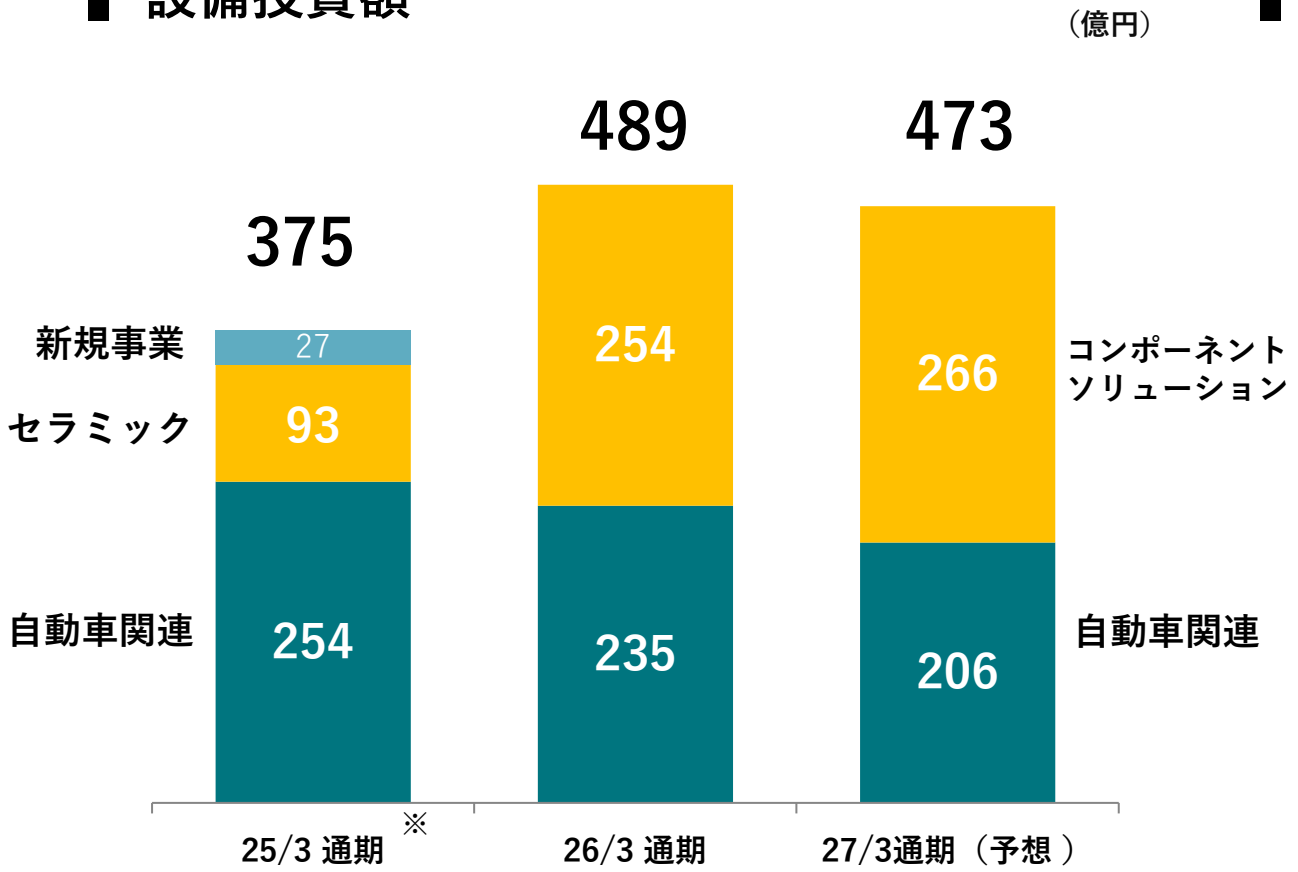
※為替影響額の中には、ドル建てで購入している原材料のプラス影響4億円が含まれています。

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

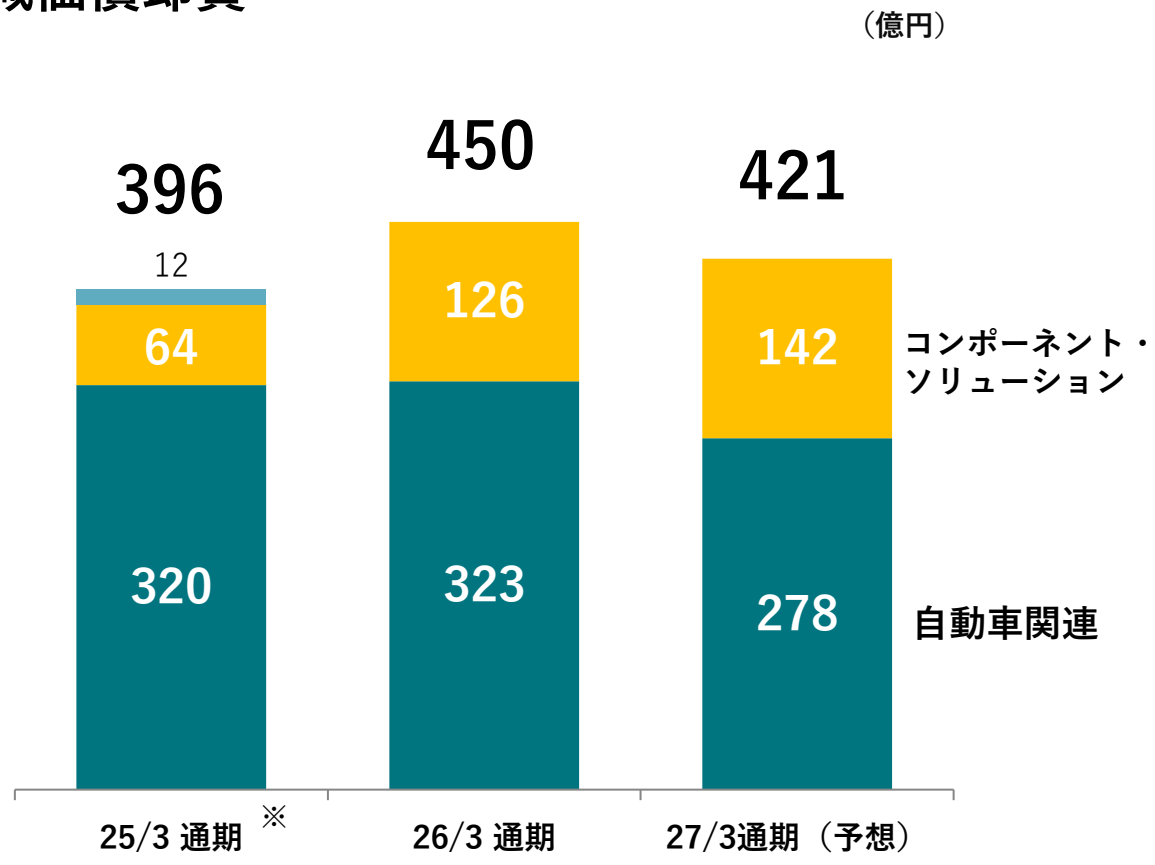
設備投資額と減価償却費

– 自動車関連事業では、既存設備の更新・生産性向上投資を中心に投資
– コンポーネント・ソリューション事業への成長投資は増額

設備投資額



減価償却費



※2025年3月期の報告セグメント区分で集計

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

目次

1. 2026年3月期　通期実績

2. 2027年3月期　通期業績予想

3. 株主還元について

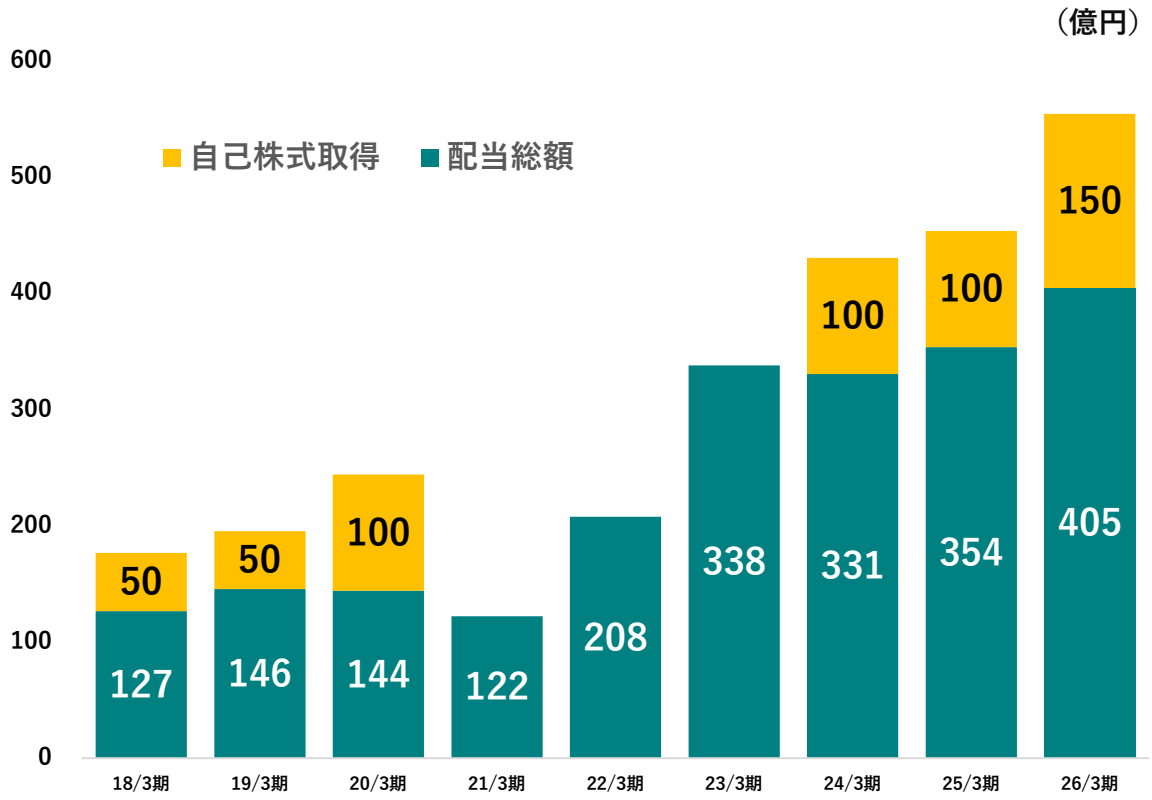
4. 中期経営計画2030の進捗
～企業価値向上に向けた取り組み～

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

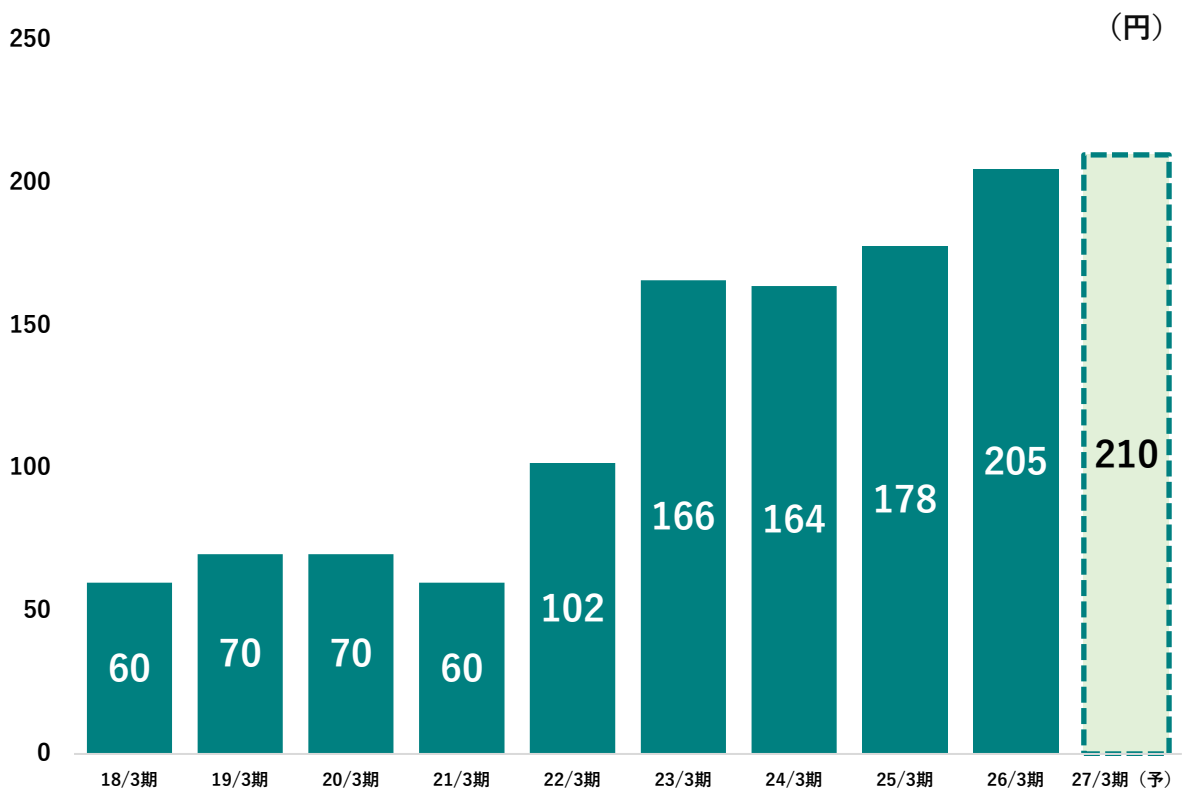
配当実績と予想値

- 2026/3期の総還元性向は**49.2%**
- 2025年10月決議の**自己株式取得枠300億円のうち、150億円は2026/3期に実施済み**
- 安定的な配当方針の下、2027/3期配当金は、**前年から5円増配とし210円/株を予想**

株主還元



DPS（1株当たり配当金）



Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

目次

1. 2026年3月期　通期実績

2. 2027年3月期　通期業績予想

3. 株主還元について

4. 中期経営計画2030の進捗
　～企業価値向上に向けた取り組み～

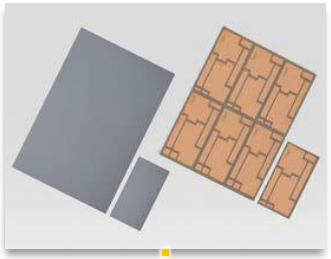
Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

窒化ケイ素事業

– 窒化ケイ素技術に強みを持つNiterra Materials（旧東芝マテリアル）を子会社化し、
xEV向け製品の拡大を目指す

窒化ケイ素放熱基板

- ✓ 小型化・高出力化
- ✓ 高い放熱性
- ✓ 高強度で長寿命



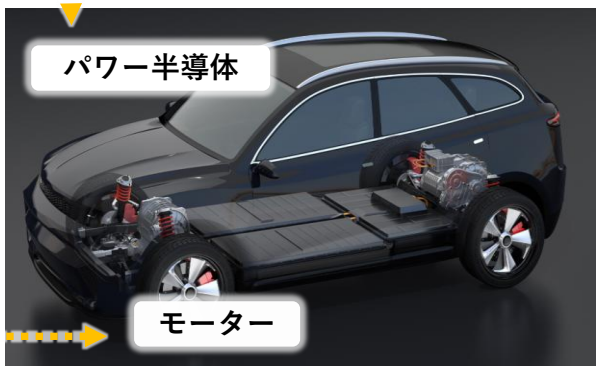
窒化ケイ素セラミックボール

- ✓ モーター軸受の電食対策
- ✓ 軽量で高速回転
- ✓ 高い耐摩耗性で長寿命





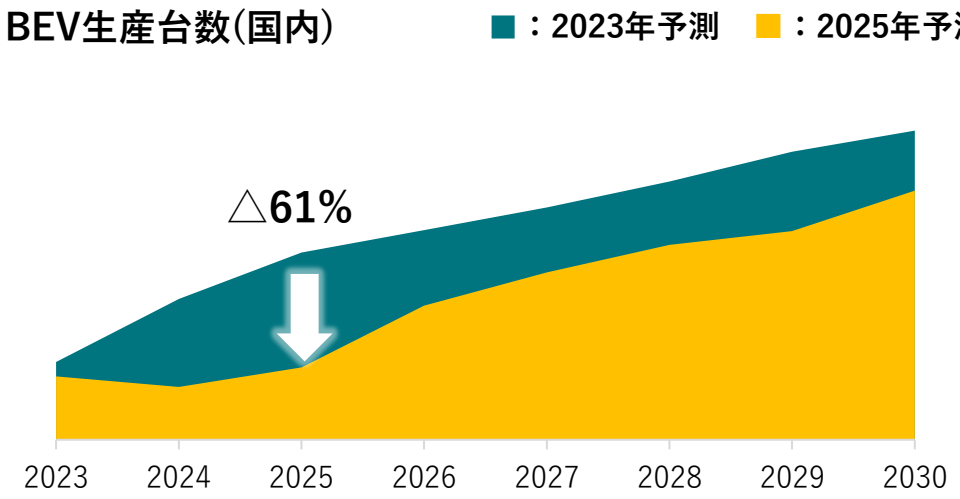
ベアリング



市場環境

・国内におけるEV生産台数は当初想定を下回って推移

・SiC化に伴う高耐熱窒化ケイ素需要の中長期的な拡大を予測



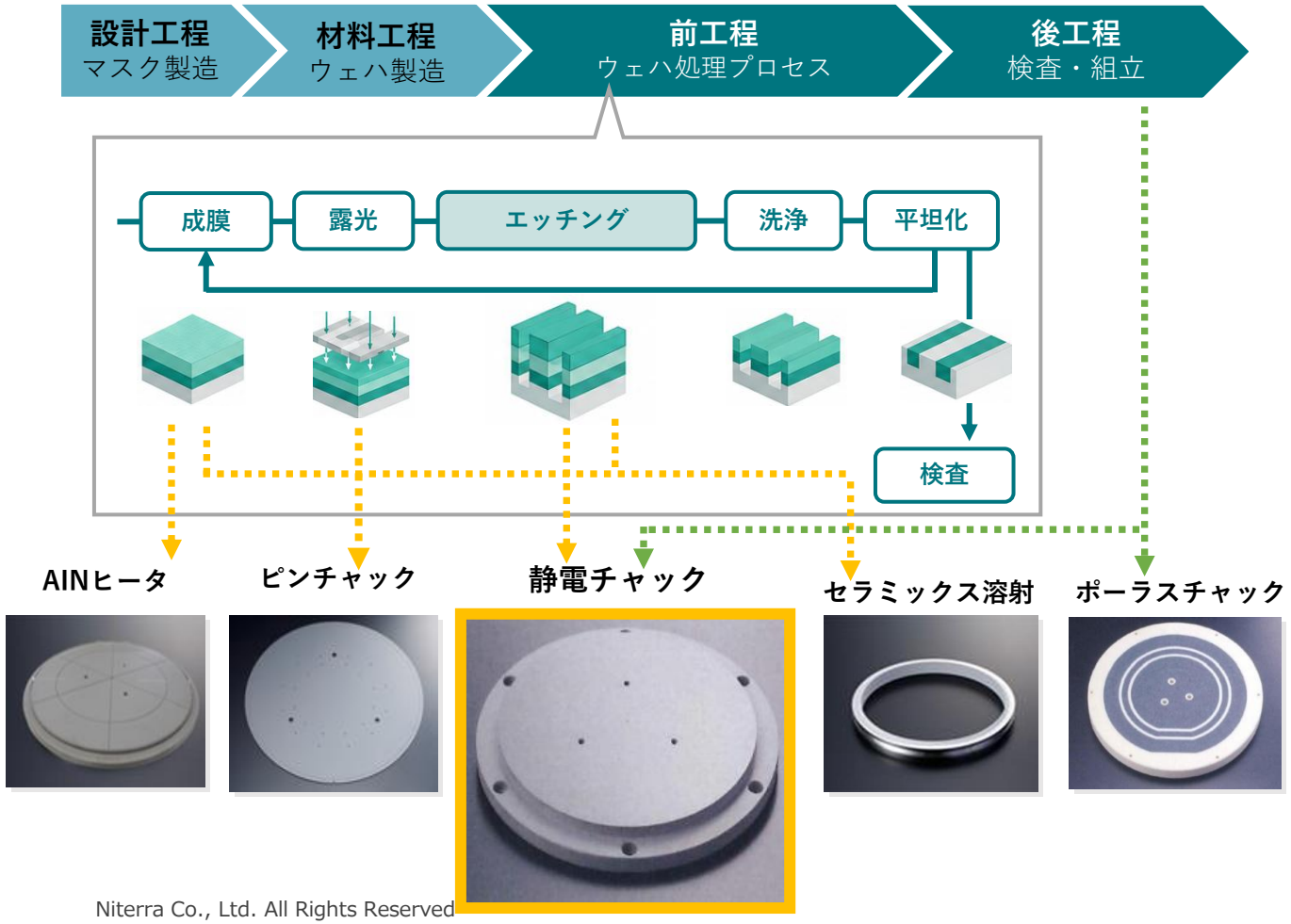
出所：S&P Global

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

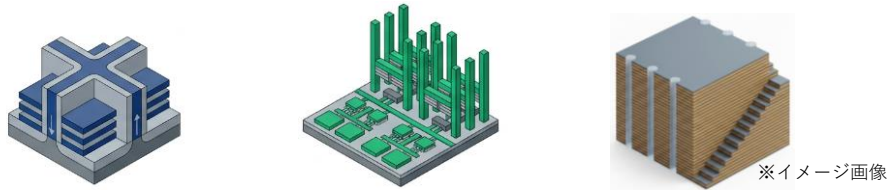
SPE事業

– 当社製品は静電チャックを中心に幅広い工程かつロジック向け・メモリ向けの双方で採用

▌半導体製造プロセスにおける当社製品



▌半導体デバイスの高機能化と静電チャック



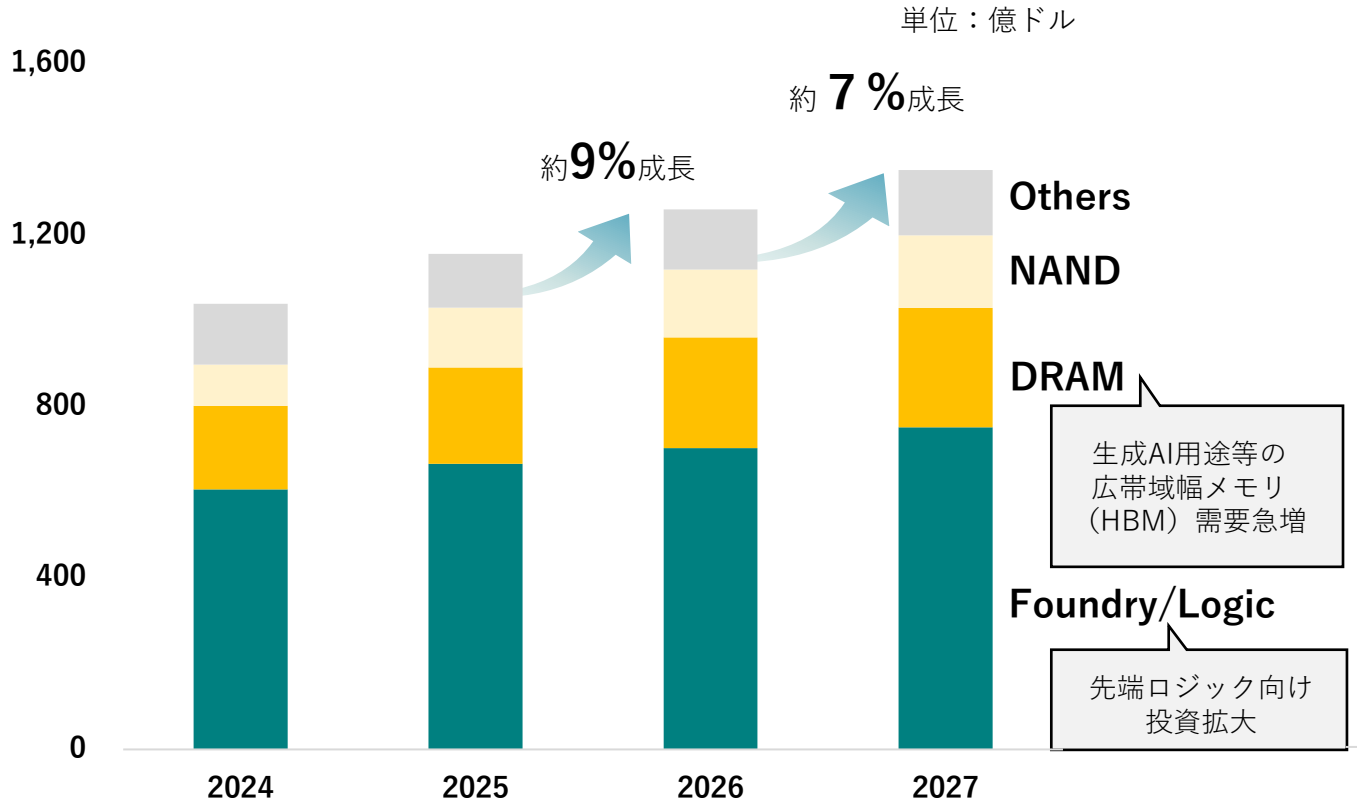
	ロジック半導体	メモリ半導体（DRAM）	メモリ半導体（3D NAND）
	先端ロジック半導体の需要増加	AI・データセンター需要に対応した広帯域幅メモリ（HBM）の成長	デジタルデータの爆発的な増加
製造装置ニーズ	微細化による高性能化	微細化、高積層化	NAND層数増加
当社静電チャックの特長	複雑なヒーター電極構成、配置自由度による温度分布の均一化		・高緻密セラミック材 ・電極配置の自由度 ・絶縁膜の溶射形成

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

SPE事業

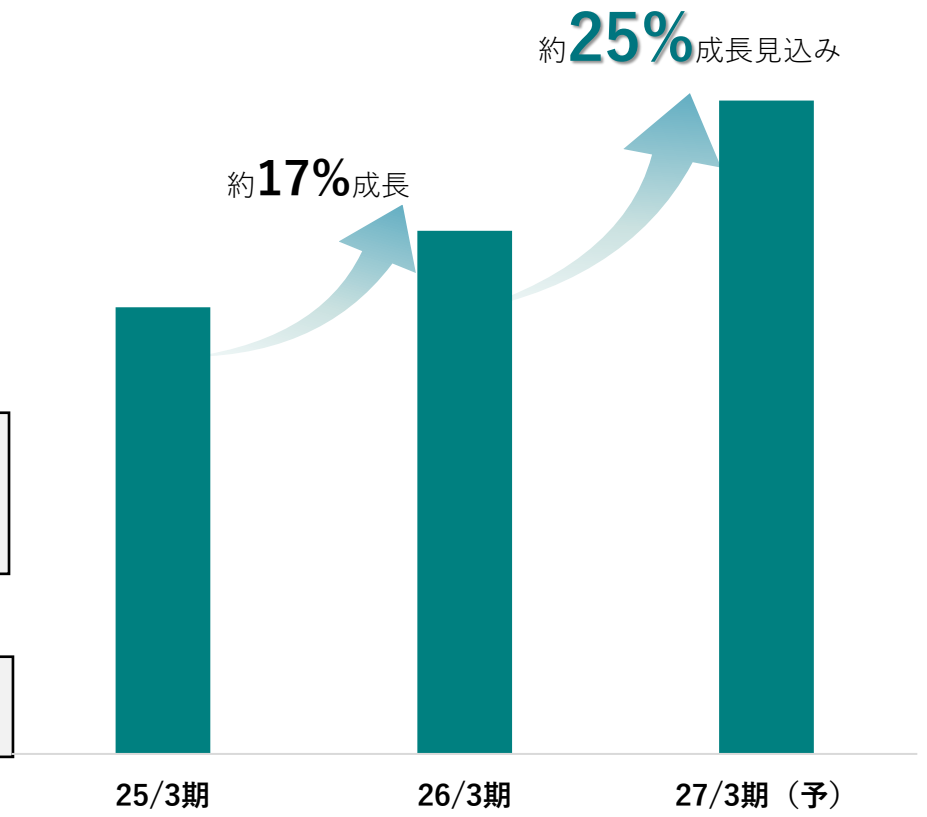
– 半導体製造装置用製品（SPE）の市場は、AI関連投資により過去最高の規模になる予測
– 当社販売は、市場成長率を上回る見込み

▌WFE（半導体前工程製造装置）市場予測



出所：SEMI WFEアプリケーション別予測（2025年12月）

▌当社売上収益推移



Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

SPE事業

– 中長期での半導体需要の高まりを捉えるべく新工場建設中（宮城県富谷市）、2026年度内に稼働予定
– 中期経営計画2030のキャッシュ・アロケーションに沿った事業投資を実行



（富谷工場完成イメージ）

NTKセラテック

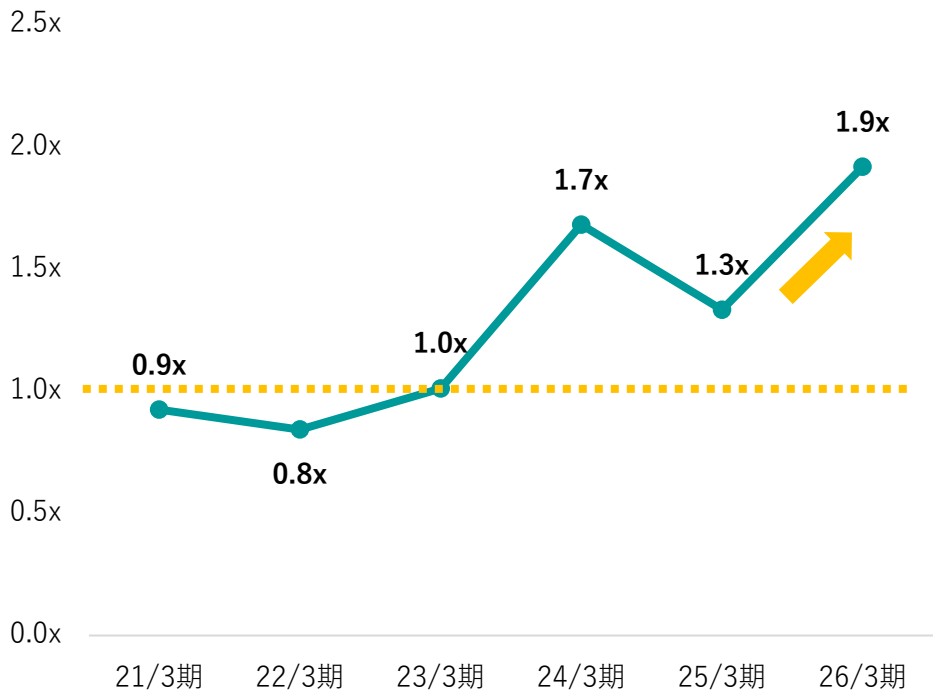
- 本社：宮城県仙台市
- 既存の製造拠点は３箇所
- 2030年頃までに段階的に能力増強
- 生産能力は2025年度比で約**2.5倍**に増強

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

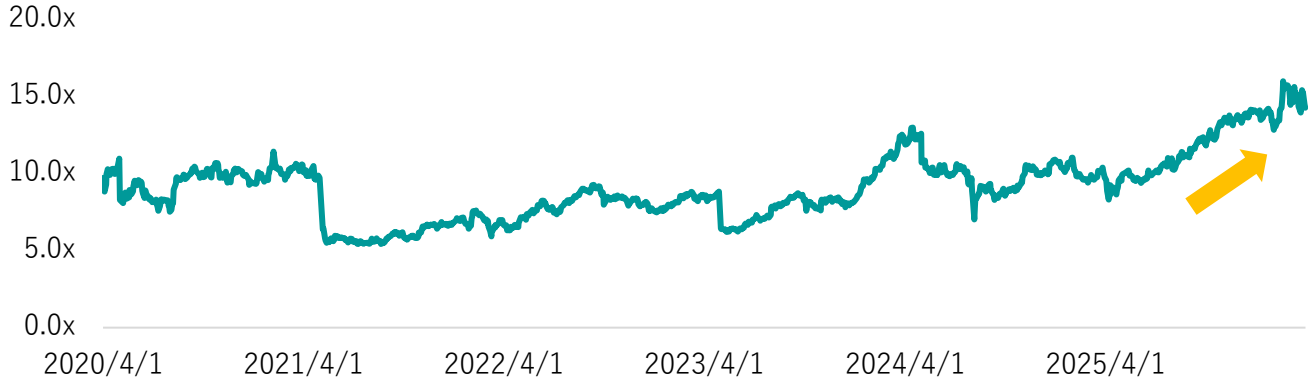
株価の現状認識

- PBRは継続して1倍を上回り、2026年3月期は前期比で上昇
- ROEは、前期比で上昇かつ株主資本コストも逓減傾向にあり、エクイティスプレッドは拡大していると認識
- PERは上昇傾向にあり、持続的なEPSの上昇により、内燃機関事業への期待感が高まっていると推察

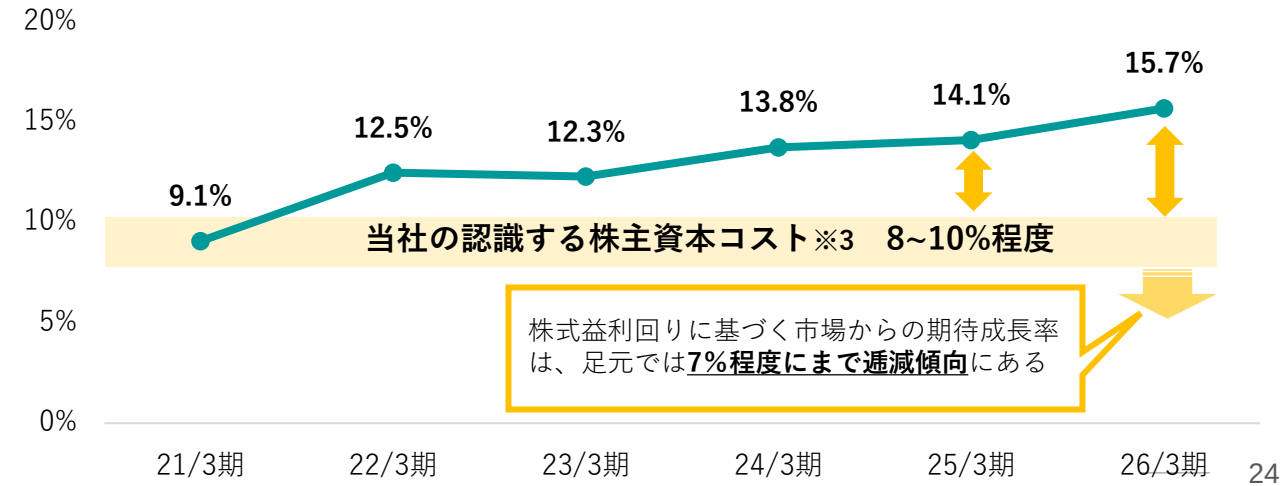
PBR※1の推移



PER※2の推移



ROEの推移



※1　各期末時点の株価終値をその前期末に該当するBPS（1株当たり純資産・非支配株主持ち分除く）で除して算出
※2　各時点の株価終値を各時点での予想EPS（市場コンセンサス）で除して算出
※3　CAPMと株式益利回りに基づく市場からの期待成長率からの推定レンジ

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

中期経営計画2030での取組み

– ROEのさらなる向上とPER向上の両輪を目指し、各施策を推進

企業価値向上
（PBR改善）

26/3期実績 1.9倍 ◀ 25/3期実績 1.3倍

PER向上

26/3期実績 約14倍 ◀ 25/3期実績 約10倍

各期末時点の株価終値を各時点での予想EPS（市場コンセンサス）で除して算出

成長事業の強化
（将来の収益期待）

- **セラミックスを軸に、コア・アセット活用に注力**

進捗状況

✓ 自動車関連事業の売上・営業利益が過去最高を更新
✓ SPE事業の収益性向上
✓ Niterra Materialsの取得によりEV向け窒化ケイ素関連製品を拡充

持続的な成長に向けた取り組み
（資本コストの低減）

- **優先的に取り組む経営課題の策定・実行**

進捗状況

✓ 人的資本経営の推進
・グローバルでの適材適所の推進（Niterraタレントマネジメント）
・成果に連動したメリハリのある報酬制度への変更
・従業員持株会を通じた株式付与を実施予定

ROE向上

26/3期実績 15.7% ◀ 25/3期実績 14.1%

ROIC改善
（収益性）

- **強い内燃機関事業をより強く、キャッシュ創出力の最大化**
- **不採算事業の改善**

進捗状況

✓ 自動車関連事業の好業績を背景に、ROICは高水準を維持
✓ メディカル事業での固定費削減に着手

財務レバレッジ

- **資本政策**

進捗状況

✓ 2025年10月に300億円の自社株買いを決定、進行中
✓ Niterra Materialsの株式取得は借入を活用

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved

Niterra
日本特殊陶業

本資料に記載されている予想・見通しは、発表日現在において入手可能な情報および種々の前提に基づくものであり将来の計画数値・施策の実現を保証するものではありません。とりわけ、実際の業績は各製品の市況や為替レートの変動などを含む様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

Niterra Co., Ltd. All Rights Reserved